

消費税10%ストップ

この一点で大同団結を



共産党・志位委員長が強調

日本共産党の志位和夫委員長は1月4日、党本部で開かれた2019年党旗びらきであいさつし、安倍政権が今年10月から強行しようとしている消費税10%への増税をやめさせようと訴えました。その内容を紹介します。

志位氏は「消費税10%への批判がさまざまな形で噴き出している」として、①「こんな経済情勢で増税を強行していいのか」、②「安倍政権の消費税増税に対する『景気対策』なるものが、前代未聞の異常で奇々怪々のものになった」という2つの批判の声が、**右囲みのように**様々な立場の人からあがっていることを紹介。「今年10月からの10%への増税を中止せよ——この一点での世論と運動を広げに広げよう」と呼びかけました。

その上で、「消費税に頼らない別の道」として日本共産党の**財源提案**を語ろうと呼びかけました。

財源はある

これまで優遇され、莫大なもうけを上げている大企業やカルロス・ゴーン氏のような富裕層に増税すれば、増税分の4兆6,000億円はクリアできます。

大企業にせめて
中小企業並みの法人税率 **4兆円**

大株主優遇税制の是正 **1.2兆円**

各界から批判の声が

- 「10%への税率の引き上げは日本経済を破壊する」（内閣官房参与を務めた藤井聡京都大学教授。17年11月18日号の「しんぶん赤旗」日曜版で）
- 「いまのタイミングで消費税を上げたら、間違いなく消費は冷え込んでしまうでしょう」（セブン&アイ・ホールディングス名誉顧問の鈴木敏文氏。『文芸春秋』1月号で）
- 「（ポイント還元などは）日々の買い物において必要のない混乱が生じるのではないかと強く懸念」（日本スーパーマーケット協会、日本チェーンストア協会、日本チェーンドラッグストア協会の3団体が経産大臣にあげた要望書で）

今こそ声をあげましょう!!

いま消費税を10%に引き上げることに野党は一致して反対しています。日本共産党は、広範な市民と野党の共同を広げ、暮らし壊す安倍政権の増税中止へ全力あげます。ぜひ力をあわせましょう。



参議院議員（東京選挙区選出）

きらよしこ

吉良よし子
日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2019年1月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介しします。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可